

関東運輸局プレスリリース

平成31年2月8日

中学生に対し船員に関する出前授業を実施しました！

平成31年1月29日（火）、横浜市立大道中学校において、1年生のキャリア学習の一環として、関東地方船員対策協議会の協力のもと、船会社から講師を招き、「船員」という職業に関する授業を行い、「船員」の仕事の魅力を発信いたしました。

今回のキャリア学習の実施内容については、職業として「船員」以外にも「調理師」、「型枠大工」、「旅行会社」、「警察官」、「動物園」がエントリーされ、全1年生約150名の生徒が希望する職業2種を選び聴講するもので、職業毎に講師が2回の授業を受け持つ形式で行いました。

「船員」の授業においては、1時限目17名、2時限目23名、合計40名の生徒が聴講しました。このうち4割を女子生徒が占め、船員という職業に対する関心の高さを感じました。

講師につきましては、関東地方船員対策協議会の協力により、昭和日タマリタイム(株)の吉田 秀亮氏をお願いいたしました。

授業内容については、「船員は日本を支える使命感のある職業であること」、「海運業の重要性」、「船舶を運航する船員の仕事、船員の魅力」や「船員になるためには」など聴講生徒が関心を持つような内容で講演し話され、生徒も真剣なまなざしで聴講しておりました。



【出前授業の様子】

授業後、生徒からは、「船員になった理由ややりがい」「船内生活での怖かった経験」などの質問があり、講師からは、「誰かの役に立っている使命感」「陸上では決して見られない光景」「1ヶ月もある休暇の過ごし方」「荒天時での恐怖体験」などをわかりやすく説明いたしました。

関東運輸局におきましては、今後も小中学生に対する船員に関する出前授業等の機会を捉え、海事思想の普及、若年船員の確保に努めてまいります。



【問い合わせ先】

国土交通省関東運輸局海事振興部船員労政課 担当：中嶋、佐藤

電話：045-211-7231

(配布先) 神奈川県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ、東京都庁記者クラブ、物流専門誌

